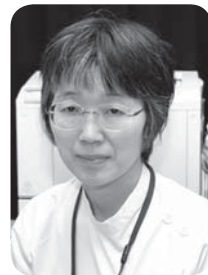


## ★ここが知りたい！★ 米沢市立病院紹介 最終回

## ★がん科編★



<sup>がんけん</sup>眼瞼(まぶた)・<sup>たい</sup>角膜(眼球の表面を覆う膜)・<sup>しょうし</sup>水晶体(ピントを合わせる役割)・<sup>たい</sup>硝子体(光の屈折や眼球の形を保つ役割)などの治療を行うのが眼科です。眼科長の高宮美智子医師(写真：右)にお話を聞いてみましょう。

**Q** 眼科では、どんな病気を治療するのですか？

**A** 眼瞼では、<sup>さんりゅうしゅ</sup>霰粒腫(できもの)・逆さまつげ・眼瞼内反症(まぶたが内側に巻き込む)・眼瞼下垂(まぶたが落ちてくる)、良性腫瘍などの治療を行います。

結膜では、異物を取り除いたり、目の白い部分が黒目に入り込んでくる<sup>よくじょうへん</sup>翼状片の手術を行っています。また、片眼または両眼が目標に向いていない斜視の手術も行います。

水晶体では、白内障や緑内障の治療・手術を行います。

<sup>もつまく</sup>網膜と<sup>はくり</sup>硝子体では、網膜剥離、眼底中心部にある<sup>おうはん</sup>黄斑部に穴が開く<sup>えんこう</sup>黄斑円孔、黄斑部に膜が張る黄斑前膜、網膜血管からの出血等により起こる硝子体出血の手術を行っています。

なお、最近では加齢黄斑変性症の治療件数が増えてきています。症状は「歪んで見える、視野の中心部が見えない・暗くなる」などで、80歳前後の人に多い傾向があります。治療には、2種類の抗VEGFという薬を用います。個人差があるので、経過を見ながら1～2か月に1回の硝子体内注射を行います。

◆問合せ／市立病院総務課経営企画室 ☎22-2450 ◆ホームページ／<http://yonezawa-city-hospital.jp/>

※全診療科を紹介することはできませんでしたが、次の機会に掲載したいと思います。ご愛読ありがとうございました。